

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.18 2006年3月18日

目 次

総会のお知らせ	1	臨床こぼれ話	7
学術局から	1	理事会等報告	9
社会局から	3	求人情報	11
各委員会から	4	事務局から	14
施設紹介	6		

平成18年度千葉県言語聴覚士会 第6回総会の日程が決まりました

平成18年度千葉県言語聴覚士会第6回総会・第1回研修会を下記のとおり開催します。今後の県士会活動の方向性を考える重要な議事が行われますので、皆様ご出席いただきますよう、お願いいたします。詳細については、後日資料とともににお送りいたします。

また、第1回研修会は、言語聴覚士の業務を行う上で重要な情報となる「画像診断」についての講演を計画しています。臨床に直結した貴重なお話を伺えるチャンスですので、ぜひご参加ください。

日時：平成18年5月28日(日)

13:00～14:00 平成18年度千葉県言語聴覚士会 第6回総会

14:15～16:40 平成18年度 第1回研修会

仮題「STに役立つ画像診断 初級編 -成人例と小児例-」

講師：宇野 彰先生（筑波大学心身障害系助教授、医学博士）他

場所：千葉大学医学部附属病院 第2講堂あるいは第3講堂

学術局から

1. 平成17年度 第4回研修会の報告

平成18年2月19日(日)千葉県こども病院にて、平成17年度第4回研修会を開催しました。今回は知的障害を伴った言語発達遅滞、構音障害に対する指導法というテーマで症例報告が行われました。発表者は下記の通りです。参加者は27名（うち会員・会友25名、会員外2名）でした。当日行ったアンケートの結果をご報告します。

テーマ：知的障害を伴った言語発達遅滞、構音障害に対する指導法

提案者：宮本 清美 先生（谷津保健病院）

戸邊 幸代 先生（野田市立二川小学校）

コメントーター：那須 道子 先生（八千代市ことばと発達の相談室）

司会：猪野 真純 先生（千葉県こども病院）

皆様から頂いたご意見・ご感想（抜粋）

- 今後もお子さんの訓練についてのご発表や基礎的な講習もありましたら嬉しく思います。
- 現在は成人のSTを行っていますが、参考になる点が沢山ありました。
- 就学後の言語指導について学ぶことができ、大変参考になりました。
- ご発表では子供さんの状況が詳しく報告して頂けたので理解しやすかったです。宮本先生の、障害名がいかなるものであってもご本人様をよくみて、目標を立て、接していくというお話は、私達STにとってとても大切な姿勢だと思いました。
- 養護学校中等部のお子さんの訓練を病院のSTとして宮本先生が行っていることに興味を持って参加させて頂きました。コミュニケーション能力UPに嬉しく思い、養護学校とSTとの連携は今後大事だと思いました。
- 発表された先生方がビデオや録音されたものを持参して下さったので、症例児の理解の手助けになりました。ありがとうございました。
- 普段の訓練の具体的な方法を知ることが出来て良かったです。きちんと評価することの大切さを改めて感じました。また“言葉”をどう“コミュニケーション”にいかすか、STとしてもっと考えなければならないと思いました。
- 学齢期以降の指導・訓練の経過を教えて頂き大変参考になりました。
- 今後、特別支援教育も考えると今日のお二人の発表のような実践がどんどん出て頂けることを期待したいと思います。
- お二人ともそれぞれに工夫しておられ、聞いていてそのプロセスがとても参考になりました。

学術局より

研修会の参加とアンケートのご協力ありがとうございました。症例提案に対して、医療、教育双方の立場から意見が出ていたことから、ディスカッションで具体的な内容まで踏み込むことができ、自らの立場を振り返るとともに、お互いの連携について考える契機となったのではないかと思います。提案者、コメントーター、司会の先生方からのご意見については、特に参考になったとのご意見を数多くいただきました。次回研修会へのご参加とご意見をお待ちしています。

2. 研修会ビデオの貸し出し、資料の送付

これまでに行った研修会について、希望者にビデオの貸し出しと資料の送付を行っています。下記の要領でお申し込みください。対象となる研修会の内容については、ホームページをご覧ください。

<ビデオの貸し出し>

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼って送ってください。

宛先：〒271-0043 松戸市旭町1-160

松戸神経内科 地域リハビリテーションセンター 四方田 博英

貸し出し期間：1ヶ月

注意：ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。
ビデオテープの代金を弁償していただきます。

<資料の送付>

方法：返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼って送ってください。

宛先：ビデオの貸し出しと同様です

3. 地域の勉強会について

平成15年度から、会員の皆様のご協力により地域の勉強会が開催されています。ホームページにて情報を公開しておりますので、「千葉県内で行なわれる地域の勉強会情報」をご参照の上、奮ってご参加ください。希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行っていますので、そちらもご参照ください。

社会局から

～～～ ホームページのご案内 <http://chibakenshikai.moo.jp/> ～～～

介護報酬、診療報酬の改定については、日本言語聴覚士協会と連絡を取りながら、できるだけ速やかに新しい情報をお伝えしていく予定です。

「日本言語聴覚士協会への意見・質問専用の掲示板」を会員専用ページに設けました。
ご意見、ご質問をたくさんお寄せください。

「県内で言語訓練の受けられる施設一覧」を更新しました。市町村別、施設別に検索できますので、ご活用ください。

なお、会員専用ページへのパスワードは、千葉県言語聴覚士会ニュースの最終ページ下をご覧ください。

書籍コーナーへの投稿、求人情報への掲載依頼、その他のご意見、ご質問はメールで受け付けておりますので、以下のアドレスまでご連絡下さい。

chibakenshikai@zp.moo.jp

各委員会から

・・・新生児聴覚スクリーニング検討委員会・・・

新生児聴覚スクリーニング検討委員会の企画により、新生児聴覚スクリーニング研修会を開催しました。講師役は委員で分担し、県内4箇所で実施しました。会員だけではなく教員、保健師を含めた多くの方々に参加していただき、このテーマについての関心の深さを改めて感じています。詳細は以下の通りです。

1. 日時および会場

平成18年1月22日(日)13:00~	視覚障害者総合支援センターちば(四街道市)
平成18年2月5日(日)13:00~	君津中央病院(木更津市)
	筑波大学附属聾学校(市川市)

平成18年2月26日(日)13:00~ 千葉市療育センター(千葉市)

2. 内容

- (1) 新生児聴覚スクリーニングから療育までの流れ
- (2) 各種検査と結果の解釈
- (3) 言語聴覚士の役割と支援について
- (4) 質疑

3. 参加者数

合計	52名	(会員26名)	内訳	言語聴覚士	30名
			教員		10名
			保健師		9名
			その他		3名

4. アンケート結果

回収数 50 (96%)

今後取り上げてほしいテーマ

療育の実際	35
保健師・STの役割と連携	32
検査 BOA・COR	21
検査 ABR・OAE	16
新生児聴覚スクリーニングの流れ	3
その他 (実際の症例, 施行が始まってからの変化, 実態報告, 他)	

新スク実施についての不安や問題点

- ・ 地域のSTがどこまでどんな役割が出来るのか
- ・ 他職種にどのように関わってもらうべきか
- ・ 保健師との連携
- ・ 聴覚に経験がなく相談を受けたときに不安がある
- ・ 親御さんにどのようなアドバイスが出来るか不安
- ・ 病院によって医師のレベルに差が生じ、親の不安が増すのではないか
- ・ 今後地域でどのような展開になるのか見通しが立たない
- ・ その他多数

感想

- ・ 保健師やSTと話す機会が持てた(教員)
- ・ 濃い内容だった。幅広い方々に受講してもらいたい(教員)
- ・ 流れ全体が理解できた(保健師)
- ・ 地域で活動する専門職が直接顔を合わせることが出来てよかったです(ST)
- ・ 療育の中で難聴への視点を常に持つておく必要があると改めて実感した(ST)

- ・他の職種の方がこういった情報・知識をもっと知らなくてはならない(ST)
- ・市の乳幼児、児童の相談窓口として取り組みを考えさせられた(児童指導員)
- その他多数

委員会では次年度も継続して研修会を行いたいと考えています。また、新生児聴覚スクリーニングは様々な職種が関係しますので、会員外にも声をかけて情報交換会のようなものも行えないかと検討しています。

・・・実態調査委員会・・・・・

教育現場における特別支援教育プログラムに関する情報収集・提供の一環として、平成17年10月下旬、小児の臨床に携わっている可能性のある施設に勤務する県士会員に、実態調査のアンケート(第2段)を実施し、特別支援教育に関わるSTの連携に関する実態や、積極的に関わられる人材・施設に関する情報を収集しました。

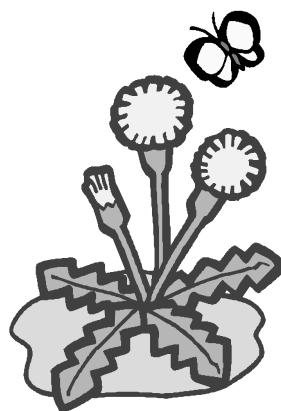
に関しては、結果をまとめて県士会総会での発表を予定しています。

に関しては、結果を12月1日、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課に持参し、STの活用を依頼しました。また、同様の文書を市町村教育委員会、中核地域生活支援センター、発達支援センターの一部に配布しました。発達支援センターの一部に関しては、その施設に勤務する県士会員にメールで文書を送信し、所属長への提出を依頼しました。平成18年度早々に、県立盲・聾・養護学校へも配布を予定しています。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

・・・日本言語聴覚士協会連携委員会・・・・・

当委員会では、日本言語聴覚士協会(以下RST協会)の生涯学習システムについてのアンケート調査を行う予定でいます。現在、作成が進んでいるところです。近日中に皆様のお手元に届くと思いますので、ご協力よろしくお願ひいたします。



施 設 紹 介

柏市ことばの相談室

S T 寄本 実希

柏市の「ことばの相談室」は、市役所に隣接している教育福祉会館の2階にあります。昭和52年に、十余二学園という知的障害児の通園施設内に開設され、昭和56年に現在の場所に移設しました。昨年度までは「言語指導室」という名称でしたが、平成17年度から「ことばの相談室」に変更しました。

対象は柏市在住の就学前の幼児で、ことばなどの心配に関する相談や子どもへの個別指導を行っています。また、就学を控えた子どもたちには、学校についての説明会やことばの教室見学会を行っています。そして、地域の養護学校やことばの教室と引き継ぎ会を設け、情報交換を行っています。相談を受けている方々や大きく成長した方々の交流会を開催しています。そして保育園から依頼を受けて、年に3回程度保育園を訪問し相談を受けています。

柏市は、今年度沼南町との合併やつくばエクスプレスの開業などで一段とにぎやかになり、人口がほぼ38万人となりました。新規申し込みは年間に100件以上あり、2歳7ヶ月～3歳の申し込みが多い傾向があります。悩みや不安を抱えている市民の方々が、より早期に相談できるように今後も市民や関連機関への啓発活動を行っていきたいと思います。

〒277-0005 柏市柏5-8-12 柏市教育福祉会館2階 T E L : 04-7163-9277

ケアセンター習志野

S T 瀬古 彩

当施設は習志野市に平成12年に開設され、周りには団地や学校が多く地域と隣接した習志野市唯一の介護老人保健施設です。定員は入所200床（うち認知症専門棟49床、ショートステイ25床）、通所80名/日で、施設内には居宅介護支援事業所や新習志野訪問看護ステーションも併設されています。又、訪問リハビリや市より依頼された介護予防・機能回復訓練A型事業にも取組む等、多機能をもった施設です。更に、ご利用者やご家族が自由にコーヒーを飲みながら話し合える憩いの談話コーナーや、おやつは3回/週バイキングにする等、ご利用者の自由を考えた工夫もあります。リハビリテーション科はPT4名、OT8名、ST2名、助手3名の総勢17名でスタッフが大変多く、職場内はとても明るく活気があります。

STの主な対象疾患は摂食・嚥下障害、失語症、dysarthria、高次脳機能障害で、回復期～慢性期の方まで幅広い層の入所・通所ご利用者にリハビリを行っています。特に、摂食・嚥下の主な管理はSTで、ムセの多い方がいる時や、食形態変更時等はフロアからST評価が必ず求められ、介助方法や、食形態等についてのアドバイスをさせて頂いています。他職種のスタッフと協力し合って行う仕事は、やはり質が高くなると実感しています。現在1人産休中ですが、春には新入職者も加わりST3名となる予定です。今後は3人で他のスタッフと連携をとりながら、ご利用者の生活の手助けができると考えています。

〒275-0025 習志野市秋津3-5-2 T E L : 047-453-5111

臨床こぼれ話

声を出せば元気も出る！

身体障害者福祉センター（B型）「ふれあいの家」で、非常勤嘱託の言語聴覚士として主に成人の失語症と運動性構音障害の方々の訓練にあたっています。

利用者さんには、基本的にはまず個人訓練を行います。いわゆるカードやドリル等の教材を使い家庭での自習教材も用意します。最近は、発症からの経過が短い方や、40歳台～50歳台の若い利用者さんが増えました。個人訓練の適応がある事はもちろんですが、利用者さん御自身も御家族もまだ混乱していて失語症についての理解も不十分な状態で、個人訓練の希望や期待が強く、又、自信喪失や不安感などからすぐには他の活動、たとえばそれが同じ障害を持つ方との言語のグループ訓練でさえも後込みなさる方が多いのです。個人訓練を行いつつ、その方の性格、趣味、有効な補助手段等、私も必要な情報を得て、利用者さんや御家族と話し合った上で必要に応じて、グループ訓練や失語症の患者さんと家族の会、ふれあいの家主催の講座や教室、サークルに紹介してゆきます。訓練に通ううちに他の利用者さんと顔見知りになり誘われてサークルに加入したり、千葉市の大型リフトバス「たいよう号」を利用した他の団体の小旅行(いちご狩り、一泊旅行等)に参加されることもあります。初めのうち、訓練最優先だった利用者さんが、こうした活動に参加されて交友の場が広がるにつれて、「～があるので次回は休みます。」となり、私は笑顔で「いってらっしゃい」…。順調です。訓練を終了された方も含めると言語障害のある利用者さんが参加されているこうした活動は、ペン習字、書道、華道、革工芸、油絵、写真、組紐、カラオケ、グランドゴルフ等多岐にわたります。



「ふれあいの家」には言語のグループは現在3つあります。1つは60歳後半～70歳台の重度の小グループで、私が密かに「勝負師グループ」と呼んでいるもの、もう一つは中～軽度の50～60歳台の「おしゃべり広場」と名付けた8人ほどの大グループ、残る一つが患者さんと家族の会で、サークルとして独立して活動しています。

「勝負師グループ」の目標はひきこもり防止と社会性やコミュニケーション能力の維持におき、メニューは“大いなるマンネリ”とも呼べるものです。挨拶に始まり体操、発声、復唱、齊読（いろは歌、フーテンの寅さん、つけ足し言葉等…）、歌（季節の歌の中から必ず一人一曲ずつ選ぶ）等もっぱら声を出す課題が続き、七並べ、花札、七並べと3回ゲームをした後、名簿の中の自分の名前と住所を指して、STと一緒に言う、挨拶で終ります。世代の特徴や重症度から家族の援助も手厚く、全てに受身だった方々が決まった活動の中で安心して楽しみ、笑い、そのうちに、ゲームで使う道具の準備や片づけが自発的に始まりました。それが齊読用の紙や歌詞カードにまで及び、発声や指さし、表情やジェスチャー等で互いに伝えあったりしてかけ声やじゃん拳の構えまで。カードを配り終えるとすぐに宿題の用意に取掛ってしまうSTの注意をひいて、チェックや援助を求めたり…。車イスで入室されていた方が他のメンバーに誘発されたのか杖歩行で入室されるようになりました。

「おしゃべり広場」の方も開始当初はやはり、社会的なニュースにもあまり関心がなく、リタイア気分だったように思えます。自分から積極的に話すことも少なく、言葉に詰まると諦めてしまう…。試行錯誤の上、現在のメニューは、挨拶に始まり、体操、発声、齊読（前述の他、おもしろい詩を毎回えて）なぞなぞの後、順番に自己紹介（ 氏名 住所 日課・近況 壁一面に貼られた新聞の切り抜きの中から3つほど選ぶ）ゲーム（言語・非言語課題）を1つして、歌、挨拶で終了。当初、準備ができるまで座って待っていた方が、今では早めに来て、壁に貼る作業や用紙の配布、回収などを自発的にして下さいます。自己紹介も、次々に拳手しては進めて、あいづちや意見・感想も出て、言葉に詰ましても皆が待ってくれる中で諦めない粘りや、反対に「いいです」と、笑顔で流す強さも見られる様になりました。新聞のスクラップを始めた方もいらっしゃいます。

『声を出せば元気も出る』がモットーの2つのグループ訓練を通して、人が人の輪の中に主体的に居る事の大切さと、思考や伝達のための道具としての言語の機能的側面ばかりでなく、一人の人間として、他の人と心を繋ぐ、娯楽としての言語の側面を保障することの大切さを改めて考えさせられました。皆さん、もっともっと人と関わり、積極的におしゃべりを楽しむ場面を提供できればと思います。

患者さんと家族の会には、STは賛助会員として参加し、慣れない新メンバーを支援しています。又、運営の相談に応じたりお手伝いをする事もあります。

長期にわたり利用される方の多い施設の性質上、個人訓練から、グループへの導入・移行がゆっくりと行える利点はありますが、同時にマンネリ化や固定化といった落し穴や甘えに陥る危険性を持っています。指導員等他の職員の協力を得る事でグループの拡充は図れるかと思います。又、既存のグループに合わない利用者さんにはグループを新たに考えるのもおもしろいと思います。若年化や経過の短さなどの最近の傾向から、訓練計画や職場復帰・再雇用の可能性を探る上で、他の職員と連携した家族支援や病院・他の機関との連絡、社会資源についての情報収集とその活用がより一層重要になると 생각ています。

ともかくにも、私自身、好奇心のアンテナをいっぱい張って、若い時から専門知識を貯える事もさることながら、遊び、スポーツ、趣味、その他、もっと様々な経験を積んでおけば良かったと思いつつ、自分なりの精一杯の臨床活動ができればと願うこの頃です。

千葉市療育センター ふれあいの家 村上修子



『臨床こぼれ話』への投稿をお待ちしています。

送付方法は、E-mail または 郵便、FAX（送付票つき）で、事務局宛にお願いします。

臨床に関わることであれば、何でも結構です。ご連絡お待ちしています。

理事会・委員会報告

平成17年度 理事会

第12回

日時：2005年12月17日（日） 10:07～12:24 場所：プラザ菜の花 2階 サークル室 pal B室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤 野島 野原 四方田（以上理事7名） 大長（書記）
(事務局より) ・新入会員などについて ・事業報告作成計画について ・リーフレット配布計画について
・督促状、退会通知書の送付について
(学術局より) ・第3回研修会について ・第4回研修会計画について ・RST協会連携委員会アンケートについて
(社会局より) ・教育庁特別支援教育課訪問について ・特別支援教育の登録施設資料の関係機関への配布について
・実態調査委員会について
(その他) ・法人化について ・RST協会 生涯学習基礎講座講師養成講座への受講者派遣について

第13回

日時：2006年1月29日（日） 10:12～13:00 場所：プラザ菜の花 2階 サークル室 pal B室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤 庄司 野島 四方田（以上理事7名） 塙（日本言語聴覚士協会連携委員）
三原（書記）
(事務局より) ・書記業務について ・県士会ニュースNo.18について ・リーフレット配布状況について
(学術局より) ・第3回研修会の生涯学習ポイント申請について ・第4回研修会計画について
・RST協会連携委員会「生涯学習プログラム」に関するアンケートについて
(社会局より) ・実態調査委員会「ST活用の依頼」について ・「県内言語訓練を受けることのできる施設一覧」の
ホームページ掲載について ・新生児スクリーニング検討委員会について
(その他) ・塙氏より、生涯学習プログラム講師養成研修会の報告がなされた ・RST協会ST月間について

第14回

日時：2006年2月10日（金） 19:34～20:45 場所：蘇我コミュニティセンター 集会室
出席者：猪野 宇野 斎藤 庄司 野島 野原 四方田（以上理事7名） 酒井（書記）
(学術局より) ・RST協会連携委員会「生涯学習プログラム」に関するアンケートについて
(その他) ・生涯学習プログラム講師養成研修会参加者意見書について

第15回

日時：2006年2月19日（日） 9:16～11:14 場所：千葉県こども病院 第1会議室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤 野島 四方田（以上理事6名） 酒井（書記）
(事務局より) ・書記業務について ・議事録について ・リーフレット増刷について
・平成18年度千葉県言語聴覚士会第6回総会の日程・場所について ・平成17年度一般会計決算書について
(学術局より) ・第4回研修会について ・今年度反省と次年度方向について ・平成18年度第1回研修会について
(社会局より) ・ホットラインについて ・平成17年度実態調査委員会活動報告について
(その他) ・特別支援教育委員会発足について ・ST月間について ・今年度の反省と次年度の方向について
・委員会運営方法について

実態調査委員会

第6回

日時：2006年1月15日（日） 9：30～14：00 場所：千葉大学医学部附属病院 言語訓練室

出席者：太田 古森 野島 長谷川 松本（以上5名） 和泉澤（ワーキンググループ） 勝又（書記）

・ST活用依頼文書の配布先について ・アンケート（第2弾）まとめについて

・平成17年度実態調査委員会活動報告について ・今後の委員会の方向性について

新生児聴覚スクリーニング検討委員会

第9回

日時：2005年12月10日（土） 10：00～12：00 場所：千葉市療育センター ふれあいの家 スタジオ

出席者：猪野 岡田 荻洲 庄司 高橋 村西（以上6名） 野島（県士会会長） 丸橋（書記）

・研修会の内容について ・研修会案内の送付先について ・県専門部会の動向について ・委員会の任期等について

第10回

日時：2006年1月7日（土） 10：00～13：00 場所：千葉市療育センター ふれあいの家 スタジオ

出席者：猪野 荻洲 庄司 高橋 村西（以上5名） 丸橋（書記）

・研修会の会場変更について ・研修会の内容（詳細）について ・研修会終了後のアンケートについて

第11回

日時：2006年3月5日（日） 13：00～15：00 場所：千葉市療育センター ふれあいの家 スタジオ

出席者：猪野 荻洲 庄司 高橋（以上4名） 丸橋（書記）

・研修会の反省 ・平成17年度活動の反省について ・平成18年度活動方針について

日本言語聴覚士協会連携委員会

第3回

日時：2005年12月12日（月） 19：00～21：00 場所：蘇我コミュニティーセンター

出席者： 笹本 塘 野島 山口（以上4名） 佐野（書記） 斎藤（担当理事）

・アンケートの再検討

第4回

日時：2006年1月13日（金） 19：30～21：00 場所：蘇我コミュニティーセンター

出席者： 笹本 塘 野島（以上3名） 佐野基（書記） 斎藤（担当理事）

・アンケートの修正 ・生涯学習プログラム講師養成研修会の報告

第5回

日時：2006年2月26日（日） 18：00～20：30 場所：蘇我コミュニティーセンター

出席者： 笹本 塘 野島 山口（以上4名） 斎藤（担当理事）（書記）

・アンケート項目の見直し ・今年度の反省と次年度の方向性について

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

求人情報

(2006年3月6日現在)

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧下さい。

国保小見川病院

急募

募集 集：言語聴覚士 常勤1名(新卒可)

対 象：成人言語障害、嚥下障害

その他の：8時30分～17時15分 週休2日 年次休暇ほか夏休、年末・年始
地方公務員 当院給与規定 共済組合による年金・保険制度

応募方法：電話連絡の上、履歴書をご持参ください

問合せ先：千葉県香取郡小見川町南原地新田438 TEL 0478-82-3161
リハビリテーション科 PT大塚 または庶務課長 高根

医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック

募集 集：言語聴覚士 非常勤1名（経験者優遇）

対 象：通所リハビリテーション 利用者（定員40名 入所なし）

その他の：平日週2回 各半日程度、出勤日など委細応相談、平成17年4月より
時給1,500円、年2回賞与（2～5万円）交通費全額支給、有給休暇あり

応募方法：市販の履歴書（写真貼付）資格の写し又は卒業見込証明書を郵送または持参

問合せ先：〒274-0822 船橋市飯山満町3丁目1345-1 東葉高速鉄道 飯山満駅徒歩5分
医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック 事務長代行 蔵本
TEL 047-496-3883 <http://www.tokushukai.or.jp>

印西市立子ども発達センター

募集 集：非常勤言語聴覚士

対 象：幼児及び小学生の言語聴覚相談及び言語指導（個別指導またはグループ指導）

その他の：9時～17時、週5日（祝日を除く月～金）1名、週1日1名、平成18年4月1日～
時給1,700円、交通費支給、週5日の場合は保険あり

登録方法：履歴書（写真添付）資格免許のコピーを郵送

問合せ先：〒270-1342 千葉県印西市高花2-1-5 印西市立子ども発達センター 渡邊
TEL 0476(40)6551 FAX 0476(47)2655

昭和大学病院 形成外科 言語室

募集 集：非常勤職員1名

対 象：主に小児、口唇口蓋裂患者の言語評価および訓練

その他の：8時30分～17時、平成18年4月1日より1年間（更新可能）毎週水曜日、時給1,100円
交通費別途支給あり

問合せ先：〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8566（直通）
FAX 03-3784-9183 火曜から金曜の8時30分～17時まで（担当：木村・佐藤）

軽度発達障害児等の個別支援者 (Flexible Tutor フレキシブルチューター) 登録希望者

募 集：軽度発達障害児等の個別支援者

対 象：佐倉、四街道、八千代、習志野、船橋のNPO法人が共同で実施する「FT支援事業」の中で、
軽度発達障害等で不適応を生じている子供たちに対し、事務局等と連絡を取り合いながら、
対象児に適したサポートを行う。

そ の 他：平成18年4月から1年契約、研修中(10回の派遣支援を終えるまで)は時給一律1000円。
研修終了後、学生は1250円、社会人は1500円(交通費は時給に含む)
1月21日面接予定だが、その後でも受け付ける。

採用条件：心理、教育に関する何らかの資格を有していること。
または資格を取得する課程で学んでいる専門学校生、大学生、大学院生。
あるいは資格はなくても発達障害児の療育経験があること。
20歳以上、性別不問。佐倉、四街道、八千代、船橋、習志野市内またはその近辺在住者。
軽度発達障害に関する2回の研修会(参加費1回1000円)に参加できる者(必修)

応募方法：必要書類(履歴書、資格・免許のコピー)と返信用封筒(自宅住所記入、80円切手貼付)を
同封し、「FT登録申込書類在中」と朱書して「FTちば開設準備事務局」まで郵送。

問合せ先：〒270-1606 印旛郡印旛村平賀学園台3-16-8 松浦俊弥方 「FTちば開設準備事務局」
アドレス c-houkag@kf7.so-net.ne.jp

介護老人保健施設 千葉徳洲苑

募 集：常勤または非常勤 1名(できれば経験者を望む)

対 象：嚥下障害、高次脳機能障害、失語症、構音障害など(入所100床、通所リハビリ60名)

そ の 他：勤務開始は応相談、募集期間 随時、平成10年3月開設、見学可能

問合せ先：〒274-0068 千葉県船橋市大穴北7-22-1 (新京成線 高根公団駅から送迎バス有)
TEL 047-457-8411 FAX 047-457-9800 事務長あてに電話下さい

四街道徳洲会病院

募 集：常勤1名(言語聴覚士の有資格者で経験者を希望)

対 象：主に成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害等

そ の 他：平成18年4月より勤務開始、募集期間 随時、施設基準 言語聴覚療法(ニーズが上がれば増員予定 基準に対応可能のように部屋数等用意済み)
平成17年11月に開設したばかりの急性期病院、病床数134床、PT2名 OT1.5名(OT、PTとも増員予定あり随時募集しています) 見学は可能ですので気軽に連絡下さい。
千葉県四街道市吉岡入輪戸1830-1 (代表TEL 043-214-0111)

問合せ先：千葉徳洲会病院 リハビリテーション科 木下 又は 安原
TEL 047-466-7111(代表) 047-466-7113(リハビリ直通)
FAX 047-464-6322 e-mail rehabili@chibatoku.or.jp

良志会 リハビリテーションクリニック リハビリテーション土気

募 集：急募 随時

対 象：成人(外来、入院)

そ の 他：8時~17時、4週8休、病床数18床、施設基準 理学、作業、言語療法
併設で、通所リハ施設があります。訪問看護、訪問リハも行なっています

問合せ先：千葉市緑区土気町446-52 TEL 043-205-6211 FAX 043-205-6222 事務長 岩佐

東京医薬専門学校

募 集：常勤または非常勤(応相談)

業務内容：講義(成人・小児) and/or 附属施設での小児臨床

そ の 他：勤務開始時期 随時、東京都江戸川区東葛西 6 - 5 - 12

問合せ先：お電話、mailにてお問い合わせ下さいTEL 03 - 3688 - 6161 mail takahira@tcm.ac.jp
言語聴覚士科 高平

介護老人保健施設 ハートケア流山

募 集：言語聴覚士 常勤・非常勤

対 象：成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害（入所 120 名、通所 36 名）

そ の 他：常勤週 40 時間、非常勤週 2 ~ 3 日（時間は応相談）

問合せ先：千葉県流山市小屋 146 - 1 TEL 04 - 7178 - 2200 riha@hc-nagareyama2200.jp
電話・メールにてお問合せ下さい。

医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院

急募

募 集：言語聴覚士（有資格者）1名

そ の 他：8 時 30 分 ~ 17 時、4 週 7 休、初任給 24 万円、有給初年度 10 日（入職半年後）

夏休、年末年始休暇有り、各種社会保険完備、できるだけ早く勤務して頂けるかた。

問合せ先：〒263 - 0001 千葉市稻毛区長沼原町 408 TEL 043 - 250 - 1228（代）

担当 リハビリテーション科 岡本 <http://www.chiba-nougeka.or.jp/>

介護老人保健施設 ユーカリ優都苑

募 集：常勤または非常勤

対 象：入所（一般・ショートステイ）96 名、通所リハ 40 名

そ の 他：千葉県佐倉市青苔 1010 - 15、開設 平成 17 年 6 月

問合せ先：開設準備室 P T 加藤さん 佐倉市南ユーカリが丘 11 - 2 S Y ビルTEL 043 - 460 - 7117
<http://www.yutoen.com>

医療法人社団恵仁会 セントマーガレット病院

急募

募 集：言語聴覚士 有資格者もしくは資格取得見込みの方

そ の 他：平成 17 年度初任給 理学療法士 23 万、既卒者は経験による、昇給年 1 回、賞与年 3 回
年間休暇 104 日、年次有給休暇（入職半年後）10 日、夏期休暇・年末年始休暇あり
各種社会保険完備、24 時間保育室完備、交通費上限 35000 円

応募方法：有資格者 履歴書（写真添付）免許証（写）

在学中者 履歴書（写真添付）卒業見込み証明書、成績証明書、健康診断書
採用試験、見学は隨時受付

問合せ先：〒276-0022 千葉県八千代市上高野 450 医療法人社団 恵仁会 セントマーガレット病院
TEL 047 - 485 - 5111 FAX 047 - 484 - 1119 <http://www.st-marguerite.or.jp/>
jinzai@st-marguerite.or.jp

坂の上外科

募 集：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤1名
対 象：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ、療養病床12床、一般病床7床
そ の 他：8時30分～17時30分（応相談）勤務日 応相談、待遇 当院規定優遇
問合せ先：千葉市緑区土気町311 TEL 043-294-5551 FAX 043-294-6513
リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

医療法人静和会 浅井病院

募 集：言語聴覚士 常勤（経験者希望）
対 象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等
問合せ先：〒283-8650 千葉県東金市家徳38-1 TEL 0475-58-5000（代表）
企画管理浅岡・ST 若梅

医療法人社団圭春会 小張総合病院

募 集：言語聴覚士
対 象：成人、小児の言語障害
そ の 他：4週8休、採用隨時、給与 当院規定により優遇、経験加算有り、賞与 年2回
問合せ先：〒278-8501 千葉県野田市横内29-1 TEL 04-7124-6892
リハビリテーション科 小林

事務局から

1. 会費納入のお願い 重要

本会の会費は前納制となっています。平成18年度の会費をまだ納入していない方は、早急にお振込みいただきますよう、お願いいたします。また、平成17年度の会費をお支払いいただいている方は、大至急納入してください。本会の会則により、2年以上会費未納の場合、退会処分となりますのでご注意ください。

2. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等ご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。



千葉県言語聴覚士会

<http://chibakenshikai.moo.jp/>
chibakenshikai@cp.moo.jp

3. 新入会員のお知らせ（敬称略） 会員数：正会員221名 会友26名 賛助会員2団体

（平成18年3月12日理事会承認分まで）

… 正会員…

山口 真紀	（佐原市在宅介護支援センター 夢プラスワン）	鎗田 美智子	（医療法人社団嵐川 大野中央病院）
岡田 麻美	（医療法人社団嵐川 大野中央病院）	二見 真喜子	（行徳総合病院）
土屋 浩子	（市川東病院）	山下 幸華	（沼南リハビリテーション病院）
秋山 章代	（千葉市立青葉病院）		
大塚 天貴	（千葉脳神経外科病院）		

…会友…

松永 麻子	（会田記念リハビリテーション病院）	今野 千春	（千葉県立千葉ろう学校）
鈎持 智子	（千葉県立千葉ろう学校）	上岡 まさ子	（千葉県立千葉ろう学校）
朝倉 洋子			

4. 入会のお誘い

皆様のお知り合いの方で県士会に未入会の方、新しく職場に入職された方などに、県士会への入会をお勧めくださいますよう、お願ひいたします。資格を持たない方、県外に在勤・在住の方でも入会できます。多くの方の入会をお待ちしています。

正会員：言語聴覚士の免許を持っている方で、千葉県内に勤務または在住する方

会友：言語聴覚士の免許を持っていない方、または千葉県外に勤務かつ在住する方

賛助会員：本会の事業に賛同していただける方、または団体

入会の仕方

千葉県言語聴覚士会のホームページに詳細が載っています。

最初のページ右上の「事務局」をクリックしてください。

ご不明な点は、E-mail、FAXまたは郵便で、下記事務局までお問い合わせください。

編集後記：道端に咲いている花をよく見かける季節になりました。

花粉症の皆様、つらい時期ですが、共にがんばりましょう。

事務局

〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会 内

TEL/FAX : 047-324-5023

E-mail : chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ : <http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード : affordance